

東京都立練馬高校

銀杏の朋 第3号
1996年9月1日発行



いちょう とも 銀杏の朋

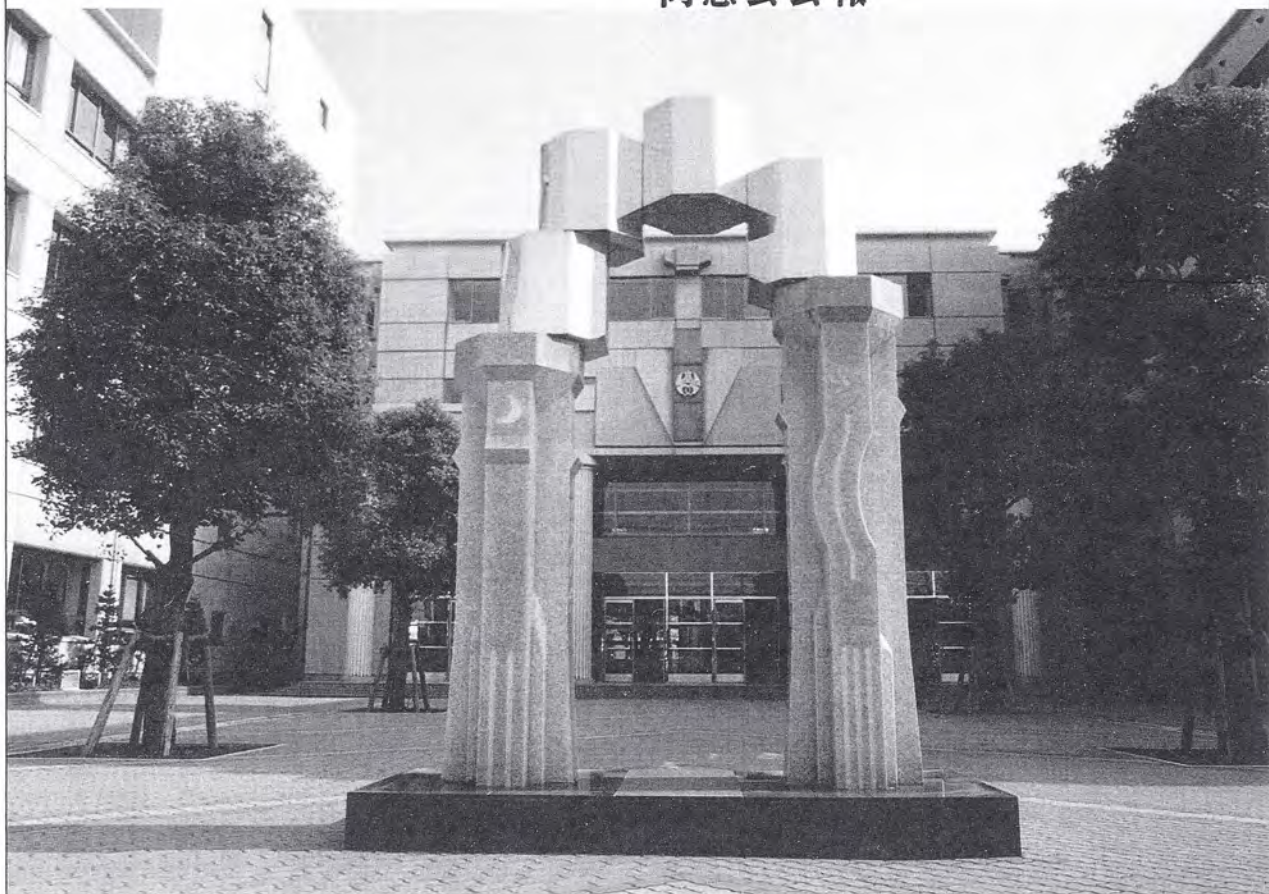
発行: 東京都立練馬高等学校同窓会事務局

〒107 練馬区春日町4-28-25

TEL 03-3990-8643

編集: 銀杏会会報委員会

同窓会会報



'96同窓会総会 (& 懇親会) のご案内

- '96年度同窓会総会を下記のとおりおこないます。
- 総会での意見交換、執行部への質問等はもちろん
また、クラス会、同期会等にもお役立て下さい。

日時: 1996年11月9日(土) PM2:00~

※総会(1時間程度)が終わり次第懇親会を始めます。

場所: 都立練馬高校会議室

会費: 2,000 円

議題: 1995年度活動報告および1996と1997年活動方針
1995年度決算および1996と1997年度予算の承認



- ◆地下鉄都営12号線「春日町」駅から徒歩8分
- ◆地下鉄有楽町線「平和台」駅から徒歩15分
- ◆西武バス豊島園〜下赤塚(成増)「練馬高校前」バス停から徒歩5分

お元気でですか？

同窓会会長 伊藤 久雄

ようやく秋めいて参りましたが、会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃は本会の活動に對しましてご理解・ご協力を賜りまして、まことに有難うございます。この紙面を借りましてお礼申し上げます。

御陰様をもちまして、ここに「銀杏の朋」第3号をお配りすることができました。例年とは違い、発行が秋になったことで心配された会員の方もいらっしやうと思いますが、発行を秋にするというのは理事会で決定されたことですので、お許し願います。以下に昨年度の「銀杏会」の活動内容を報告したいと思います。

第一に95年5月14日(日)に神田学士会館にて総会を開きました。会

費が高かったせいとか、こちらが期待したほど人数は集まりませんでした。が、第二代校長・森杉多(もりすぎお)先生に出席していただくことができました。

総会では94年度決算報告・95年度予算案・「新役員・理事」の承認・95年度活動方針・同窓会会則追加が賛成多数で可決されました。94年度決算報告・95年度予算案は巻末を参照していただくとして、「新役員・理事」・95年度活動方針・同窓会会則追加はそれぞれ以下のとおりです。

〔新役員・理事〕

名譽会長	高山 士 (母校校長)
会長	伊藤 久雄 (77年卒)
副会長	加藤 佳美 (79年卒)
書記	矢野 正弘 (77年卒)
理事	川島英利無 (93年卒)
理事	川島恵美子 (68年卒)
理事	小菅 英明 (73年卒)
理事	三浦 喜雄 (75年卒)
理事	小沢 直彦 (75年卒)
理事	山本 圭一 (94年卒)
理事	近藤 邦夫 (73年卒)
会計監査	近藤 邦夫 (73年卒)

〔95年度活動方針〕

*会則の見直し(幹事会が機能しなくなっている等の現実があります)

*理事の確保(まだまだ、理事の数が少なく、現理事の負担が重い)

*財源の確保(会費の値上げなど。入会金は69年度生以降値上げされていない。)

〔同窓会会則追加事項〕

〔提案1〕

都立練馬高校同窓会(銀杏会)会

則第7章理事会の条項に次の一文を追加する。現行の会則第15条の次に置き、第16条とする。

〔第16条〕

「理事は本会規則第13条の②に定めたと選出、または総会において選出することができ」

〔提案2〕

都立練馬高校同窓会(銀杏会)会則第7章理事会の条項に次の一文を追加する。現行の会則第22条の次に置き、第24条とする。

〔第24条〕

「会長は理事会の運営を妨げる行為をしたとみなされる理事を理事会の議決の結果を尊重し除名することができる」

第二に、95年6月から10月まで計4回理事会を開催し、総会の時期・場所・会報の発行時期について検討を重ねました。参加した理事からは多様な意見が出されましたが、次のような結論をみました。

総会は秋(11月)に母校を借りて行う。会報発行も総会に合わせ9月中旬に行う。

〔理由〕

①母校を借りる事で経費を安く抑えることができ、出席者増加が見込まれる。

②会報準備・予算・決算作成を余裕を持って行う事ができる。

③女性会員にとって母の日よりもベターである。

最後に、役員・理事の数が少ないため、何かと会員の皆様にはご迷惑をおかけした・することもあとと思ひます。しかし、会長以下全員、責

任感を持って頑張っておりますので、これからも皆様方の一層の同窓会活動に對するご協力をお願いいたします。

母校と銀杏会

校長 高山 士

母校に對する自己評価は、在学中と卒業後では一変する人はよくある。厭で仕方なく学び、価値すら見出せなかった母校も、卒業後、誇りに思え母校意識を強く感じる人がある。練馬高校を卒業された皆さんの中にも、このような思いをお持ちの方も多いことと思う。また、この逆もありましよう。

原因の一つには、母校の現在の在り方、いわゆる社会的な評価が考えられましよう。もう一つには、自分が在学中いかに過ごしたか?ということにあるのではないかと思います。いずれにせよ、私達、練馬高校を預かる者としては、現役の生徒諸君が「この学校で学んでよかった」と思われる母校づくりに汗をかいたことが最大の任務であろうと考えています。同窓会とのかかわりについても、母校の「現在」が色濃く反映されるものと思ひます。

母校と銀杏会との関係は、母校がさらに高い評価を得ることができたら、同窓会への帰属意識も確実に高まり、発展も約束されるものと思ひます。

ともあれ練馬高校を「母校」として見るのできる学校づくりに力を尽くしたいと思ひている。

卒業生からの便り

練馬高校を卒業して

三期生 小林 勝

現在、私は練馬に近い小学校に勤務している。転任してきた時、高校の時に通った道がなつかしく、春日町の地との縁の深さを実感したものだ。

入学当時の練馬は、周りは畑一色で、体育の授業は、石拾いから始まるのが常であった。

当時、私は卓球部に所属していたが、卓球台が二台しかなく、空中廊下に置いて練習していた。卓球部は、トレーニングが厳しく、新人部員が五月に入るなり、半分以下になることもめずらしくなかった。教えてくれる先輩も少なく、トレーニングを兼ねて四商まで走り、技術指導をしてもらったことを今でも思い出す。

高校で卓球に出会い、大学でも続け、卒業し、教師の道を歩む今でも卓球から離れられない。腕の方はすっかり怪しくなってしまうているが、卓球を通じて、色々な人との出会いがあり、喜びがあった。

高校時代は、とても短い。しかし、人生で最も濃縮された時期であるように思える。この時期の生き方、生き様が、人生を大きく左右すると私は思う。悩み多く、恋に破れることもあつたが、いつも前向きにものごとを考え、実行することで必ず道が拓くと信じている。がんばれば、後輩、練馬生。

45年第4回卒業生

多田 計介(旧姓塚本)

三年程前に、学校をおとつた機会を頂きましたが、すっかりリニューアルされた姿に出会い目を見張りました。私は、在学中クラブ活動で

文化系の茶道部と体育系の野球の二足のわらじを履いておりました。結果、卒業後も一年程は学校へも先輩がそうしたように、後輩の皆さんの活動を見に行つた事を思い出します。その時でもクラブ関係の部室(現在はありません)が建てられていたりして、少し変化していましたが、今回の印象ははっきりと時の流れを強く感じました。とはいっても不思議なもので少々時間が経つ間に、始めに感じた違和感が薄らいでいく事を確かに感じました。それは長い間の途切れつあった記憶の縫合作業が進んだからだと思います。その事のお手伝いをして下さつたのが、同窓会のお世話をして下さつたのが、先生並びに後輩(当日、私が一番年長でしたので)の方々のご配慮のお陰でした。

何れにせよ、卒業後26年も経過している訳ですから、変わつていて当然です。しかし、何でも変わつてしまつて良いと言つたではありません。やはり、私にとって、人生のなかでも、さわやかで輝かしいときを過ごした時間としての存在・位置づけは、今も変わつてはいかないと思ひます。これかもずっと・・・

代理人として

十三回生 洪谷恵美子

練馬高校を卒業して、十八年が過ぎてしまいました。グラントハイツと呼ばれ、野原だった所も今は、「光が丘」となり、まさか自分がそこに住むようになるとは夢にも思いませんでした。特に光が丘は都立高校も多い所なので、おしゃれな学生

たちを見るところがやましい限りです。もし、自分が今生れていたら、もっと違った学生生活が送れたたのではないかと思つてしまいます。また、私は現在練馬区で区議会議員(私たちは代理人と呼んでいます)をしています。ほんの少し前まではごくごく普通の主婦で、自分には関係のない世界だと思つていました。でも、小学校のPTA活動や生協活動から、自分たちの生活が政治に実は密着していることを知り、自分にも何かできる事があるのではないかとこの単純な動機から立候補しました。確かに政治の世界というとか汚いような感じがしますし、できたら関わりたくないと思うのが普通かもしれません。しかし、誰もが、このままじゃいけない、何かしなくてはならないと思つているのではないのでしょうか。もし、私のような普通の人間が関わることで身近なものに思つてもいい、多くの人たちに心を持つてもらえたらいいと思います。そして、決して特別な人たちが政治を行うのではなく、誰もが参加できるものになつてほしいと思います。

教師の気持ち

十三回生 池上 稔

現在、英語の教師をしています。生徒のことで追われる忙しい毎日です。クラス担任をしていると一年もあつという間です。

Aさん、宿題をよく忘れるけれど家では一体何をしているの。

B子よ、クラブ活動に熱心だけれど勉強にもそのくらいの情熱を注ぐとすこいのになあ。

Cちゃん、授業中いつも寝ているけれど、そんなに疲れているのかな。あつ私の授業がつまらないんだ。頭の中はアノ人のことばかりでボ

ケーとしてるD。青春真っ最中ってとこかな。

教室が汚いと思ったら、今週の当番にいつもさぼるEがいたな。

クラスの生徒のことを書いていくつもりでしたが、思わず手が止まつてしまいました。ハツとしたのです。ABCDE五人の生徒って高校時代の誰かに似ている。人生って、悪いことや楽をする、いつかつけがまわつてくるとよく言われます。今、つけがまわつてきているのかも知れません。宿題をやっておけばよかった。勉強にも情熱を注げばよかった。掃除をきちんとすればよかった。今頃わかる教師の気持ち。

教師という役柄は、この時代とても難しく、疲れます。しかし、「廃校体操」で鍛えられた者として、体力に自信があるというのには、何よりの強みです。(注・廃校体操とは、当時の体育での体力トレーニングの別称)



From the Teachers

練馬高校に寄せて

国語担当 長谷川節三

卒業生の皆さん、お元気でしょうか。開校当初、本校に勤務していた長谷川です。

私が本校に勤めて（国語・漢文）いたのは、本校開校直後の三年と少し（39・1・16～42・3・31）でした。

本校は都立第四商業の間借りから出発しました。四商の東南の隅にあったその校舎は、以前は四商の図書館だったというのですが、わずかに六教室しかない木造二階建ての小さな建物でした。第一回生は約三百名でしたから、その建物では、職員室などをとると、とても収容しきれません。四商の東隅にある教室を、いくつか都合していただいてやっと授業ができるという状況でした。校庭はデニスコートが二面とれるとてでした。当時、都内の各地には、高校生が急増したため多くの新設校ができましたが、本校は校舎はおろか敷地さえ決まっていりませんでした。そのような、みすばらしいかぎりの本校でしたが、先生方は燃え尽きていました。そして生徒諸君も、それなりの高校生活を創出し、じつと我慢をしながら勉強していたのです。先日、私は懐かしさの余り本校の周囲をそれこそグルグルとまわりました。今や本校には広くて整備された校庭、聳えたち校舎、伸び伸びと元気にスポーツをしている生徒諸君の姿があり、感慨無量でした。

同窓会への期待

森 杉多（二代校長）

戦後の急増期に創設された高校の同窓会は、二十一世紀には、著しい低迷期を迎えるのではないかと心配されます。一生を戦中戦後の学校教

師で過ごした私は、自分の出身小中高等学校、勤務校七校の同窓会の実情を見てそう思います。

私は出身大学同窓会の職業上身分上の恩恵に浴し、出身中学同窓会では先輩、同期生との親愛を深め、相互激励の絆を守ってきました。私が挫折し、孤立無縁の逆境に陥った時私を慰め、再び振るい立たせたのは「ふるさと」の山河であり同窓の友でした。

平成の今、昭和後期創立高校の同窓会員が、同期会やクラス会で今昔を語って楽しむことはあっても、会全体が充分にその機能を生かしているようには見られない。その主な原因は、高校が中学と切り離されて三年間という「過渡的」短期間であるため、先輩、後輩の関係が薄く、愛校心が育つ暇もないためです。

1. 同窓会の本務は先輩へのアフター・サービス（学校での教育は終わって同窓先輩後輩関係存続。名簿・会報の仕度重要）。
2. 現・旧教師の支援下、母校文化祭などに出演、後輩生徒を指導。
3. 総会は母校で開催（同期会・クラス会も同日開催のよう計画）。

加害者としての自分

美術担当 近藤 満

私は名前が示すように旧満洲（中国東北）で一九三三年に生まれた。戦後、帰国以来（と言うより渡日）いまだに生まれた大地に触れていない。年を経るにつれて望郷の思いは募る一方であったが、単なる感傷から旅に出かけるべきではないとの反省の思いが頭の中を駆けめぐる。日本の戦前の財閥や軍閥が大陸で何を企て掠奪し破壊したかを知ること、少年時代を植民地で過ごした自分の加害者としての責任を強く感ずるからである。

今年の夏に、友人に誘われて韓国旅行をした。古都慶州の歴史と美術を探索するのが目的であったが、帰途に立寄ったソウルで、日本人として恥ずかしく冷汗の流れる思いであった。八月十五日の韓国は開放の日であり、その日を博物館（旧朝鮮総督府）消滅の第一日にすることは出発前からすでに知っていたことであった。五日前の博物館の周辺は式典の準備中で雑然としていた。館内を観て館の後ろ側にある李朝時代の建物を見学しようと裏へ回って愕然とした。博物館は李朝の王宮の真正面に大きく立ちだかっていたのである。ここで初めて私は、伊藤博文を撃った安重根の思いが理解できるような気がした。韓国ではこの博物館を壊すか残すかが議論されたと言っているが、私はすべての日本人に見てもらいたかった風景であった。

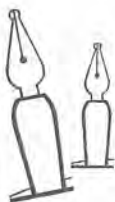
遠い日のこと・でも思い出は新鮮

英語担当 緑川日出子

いつまでも若い気持ちでいますが、気がついたらもう五十路。教員生活も三十年が過ぎようとしています。わたくしの練馬勤務は教師として最も元氣一杯の三十代の七年間でした。あまりに思い出が多すぎて何から語ってよいかわからぬほどです。熱血で勢い余ったこの教師は情熱的に授業に取り組みましたが、その分生徒との衝突も多く、内心悩むこともしきりでした。そんなことを助けて下さったのは先輩諸先生方です。わたくしの教員生活の中で、教師のあるべき姿について最も多く教えていただいたのは練馬時代です。練馬の教育は愛憎だったと思います。しかし若いわたくしにはその意味がなかなか理解できず、練馬の七年間を鉄の鞭をふるってすごしてしまった事を少し

残念に思ったりします。もちろん、わたくしの元気に威勢をつけられて力を得た生徒のみなさんも多かったであろうとは思いますが。

わたくしは練馬のあと駒場高校で三年間過ごし、その後、その間に教師として一度自分の行き方や専門分野の勉強をやりなおして見たいと考え、仕事をしながら夜は大学院に通いました。ところがこれが病みつき、六年近くも勉強してしまいました。大学院での収穫は専門の勉強の外に、教育はひとひとりの生徒を大切に育て、育み育てるということを学んだことでした。それはわたくしが練馬で本当に多くの先生方から教えられたことでありましたが、同時に自分で苦労して勉強し、体験を通して初めて理解したことでもありました。駒場での最後の六年ほどはわたくしの変身の時代でした。みなさんには緑川先生は優しい先生などとは信じがたいかもしれませんが、このころは生徒のみなさんの気持ちがとてよくわかるようになり、よい人間関係の中で鉄の鞭のかわりに愛の鞭をふるっていたように思います。練馬時代は少し遠い昔のことになりました。しかし、キャベツ畑を見回しながら、ときには大きなキャベツをかついで家に帰ったりした思い出も新鮮です。わたくしは、現在は昭和女子大学文学部英文文学科で教鞭をとっています。いつかみなさんのお子さんを大学でお教えするようなことがあるかもしれません。そんな日がやってくるのを楽しみに。先輩諸先生方、卒業生のみなさん、楽しい思い出をありがたうございまして。ご健康で豊かな日々をお過ごし下さい。



以上一六五名



同窓会担当より

新たな羽ばたきの最中で

美術科 佐藤 清観

練馬高校卒業の皆様には、それぞれの分野で活躍のことと存じます。

さて、早いもので私も練馬高校に赴任して十二年目を迎えようとしています。ざっと計算しても三千名以上の生徒と共に練馬高校での高校生活をおくってきたこととなります。

この間、練馬高校は全面改築と制服の改定、そして教育課程の大変換を行いました。この結果、練馬高校はまったく新しく生まれ変わったと言っても過言ではありません。

教育課程の完成年度を迎え、卒業生の皆様に母校の現況をお伝えし、さらに多大のご理解とご支援をいただきますようお願いする次第です。

自分自身の時間割をつくろう

本校では生徒一人ひとりを大切に、高校生活を通して豊かな感性と創造性に富んだ、力強く生きる青年に育ってもらいたいと願っています。そこで本校では一人ひとりの個性や適性、進路希望に合った授業を三年間で多く学ぶことができる教育課程を編成し実施しています。卒業に必要な80単位のうち、例えば理科系への進学希望者なら、数学や理科の科目を36単位も受講できます。また、

美術や工芸の好きな人は18単位受講できます。同じクラスにいろいろな個性や志望を持つ友達がいってこそ、一人ひとりを大切にするのだと考えます。このカリキュラムは全日制普通科課程としては、都立唯一のユニークなものです。

熱心な部活動

文化部は10、運動部は17のクラブが活動しています。伝統あるブラสบバンド部や美術部は部のコンクールに参加しています。毎年4月にはブラスパンド部は練馬文化センターでコンサートを行っています。また、サッカー部やバレーボール部、バスケットボール部など都大会で年々好成績をあげています。女子バスケットボール部は一昨年の新人戦で5回戦に進出し3部に昇格しました。また、男子バスケットボール部は練馬区民大会では決勝で早稲田高等学校に惜敗したものの、関東大会予選などで私立に勝ち、全国大会予選では5回戦に進出しました。また、ユニークなものとしては民俗学研究部やT・T・G、弓道や合気道の各部があります。どの部も生徒と指導する教師が一体となって活動しています。

特色ある学校行事

4月オリエンテーション、5月生徒総会、進路の日、地学校外授業（1年生・プラネタリウム見学）6月

体育祭、芸術鑑賞（全校観劇）生徒会総務会、7・8月クラブ夏期合宿9月銀杏祭（文化祭）、10月球技大会（全クラス対抗2日半）生徒総会、11月移動教室（1年生・蓼科高原・野外活動・HR活動などの2泊3日）12月スキー教室（希望参加・3泊4日）、1月芸術科卒業制作展（美術・工芸・書道）、2月修学旅行（2年生・北海道・3泊4日、長崎方面などの場合あり）ロードレース（1、2年生・森林公園）、3月3年生を送る会、ブラスパンド部定期演奏会

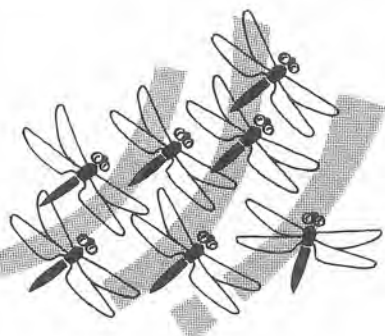
多彩な選択科目

練馬高校には実に多くの選択科目が開設されています。およそ90にもおよぶ講座の中から特色あるものを紹介します。

○スポーツ（1年生・バスケットボールやサッカーなど球技から2種目を選択して、より専門的に学びます）○コミュニケーションA（1年生・話す英語に徹して外国人講師と英語による交流が可能になるようまなびます。）○素描Ⅰ・Ⅱ（1、2年生美術や工芸、デザイン、建築などの基本になるデッサンを入門から学びます）○テーマ世界史（2、3年生・世界史の中でもじっくり学ぶために興味のあるテーマをもとに学びます）○地図演習（2、3年生・地形図やその他の地図について基本を学ぶとともに、作図をします）

○生活に生きる法律と経済（2、3年生・身のまわりにおいて役立つ法律や経済の基礎を学びます）○陶芸Ⅰ（2、3年生・焼き物だけを制作する講座です。各種の技法や焼成についての知識も学びます）○ビジュアルデザイン（3年生・視覚を通じたコミュニケーションをデザイン制作で学びます）○標準生物（3年生・バイオテクノロジーなどの学習の基礎となる実習中心の講座。看護系進学者向け）○家庭看護・福祉（3年生・健康管理を身につけるための介護や福祉について学びます。実習もあります）

現在の入学生は6クラスの240名です。かつて45人学級の9クラスで編成していた頃とは、隔世の感があります。



お便りコーナー

◎初めて手にした同窓会だより。とてもなつかしく拝見しました。只今子育て(5人の)真っ最中で、ようやく長男が高校一年生になりました(未っ子は4歳)。来年の同窓会には出られるように今から準備です。(会費8000円はチョットキツイです)。募金カンパは一口だけですがさせていただきました。銀杏会名簿がほしいのですが、どうすればよいのですか？

S47年度卒 朝比奈静江(旧姓藤間)

◎同窓会便りありがとございます。うれしかったです。今回は参加しなかったのですが、どうしても用があるのに参加出来ません。次の機会には練高での友達をさそって参加したいと思っていますので…。また近いうちに同窓会総会やって下さい。皆に会えるのを楽しみにしています。

H5年度卒 白川真由美

◎同窓会委員の皆様、いつも「苦労様で」ございます。会報の新タイトル「銀杏の朋」はとても良いですね。これから何かと大変とは存じますが、頑張って素晴らしい会報を作成下さい。楽しみにしております。

S55年度卒 清水まさ子

◎三人目の出産予定が5月1日なので、総会開催日には、外出できないと思います。いつもこんなことが重なって出席できないので残念です。友人達も次々と子持ちになり、なか

なおお互いに会うこともままならないが、いつかのんびりと会える日を楽しみにしています。

S55年度卒 伊藤 深雪

◎練馬高校を卒業してからもう二十三年経ちました。先日、妻と子供たちを連れて休日、練高見物に行ってきました。新校舎が門の前にデンと建っていてびっくりしました。まわりの景色も変わっていました。面影は昔のまま。なつかしいやら、はずかしいやら。(そんな私を家人たちは不思議そうに見ていました)

S47年度卒 鶴田 徹

◎「銀杏の朋」の当選者が坂場 潔さんというニュースをみてなつかしくなりました。もう二十九年になるのかと思うと、会ってもお互いわからないかもしれない気がします。

S41年度卒 加藤 公明

◎私達、練高時代に仲良しだった友5人で、卒業後にも年に一度できるだけ部会をつけて集まるようにして来りました。私は小、中、高校生活の中でやはり何でも話し合えるのは高校の友達のように思います。最近、担任でいらした森先生がテレビにお出になって解説のコメントなどで、お話ししていらっしやるのを拝見いたし、久しくお会いしていませんでした。私達が在学中お世話になった先生方の近況

を知りたいと思います。

S43年度卒 長井由美子

◎「銀杏の朋」を大変懐かしい思いで拝見しました。あの頃の校舎がないとは、ちよっと残念ですが…。

学校群制度で練高に入った私達です。で、最初はなかなか好きになれない部分もありました。でも今ではとても懐かしい楽しい高校生活です。夫婦共練高卒ですので友達も多く、まさに練高様様です。事務局の方、本当に大変なことと思いますが、これからも宜しくお願いいたします。

S45年度卒 山内 良夫・節子

◎昨年末94ニュービジネス大賞特別賞を受賞し、株式公開に向けて、全国展開をスタート。大変忙しく動いています。5年後に公開後上場を予定していますが練高卒としては初の公開上場企業社長かなあと、自己満足しています。何かイベント等あれば、企業協力出来ると思います。

S46年度卒 野口 卓

◎ケーブルテレビ会社に勤めていますが、今年理容師の夫と結婚し、4月より私も都立の理容学校の生徒となりました。1年間勉強し、その後、1年のインターン生活を経て、理容師免許を取るつもりです。学校が都立なので、私の様なオバサンも結構来ているので、楽しくやっています。

S55年度卒 阿部加奈子

原稿・写真大募集 /

クラス会・OB会等の写真・原稿(400字～800字)をお寄せ下さい。次回同窓会報発行時に掲載致します。懐しい仲間との楽しい場面をお待ちしております。氏名・住所・卒年などを明記してお送り下さい。

同窓会々員の情報収集にご協力下さい!!

現住所の判らない会員の方がいらっしゃいます。ご存じの方がいらっしゃいましたら、返信ハガキか封書で、卒年・組・住所・氏名・電話番号をお知らせ下さい。よろしく御願い致します。

名簿委員会より

名簿委員会では次の内容で活動をしていく予定でおりますが、会員の皆様によく知っていただきたいと思います。紙面を頂きました。

(1) 会員のデータの訂正

データの変更は主に移転によって住所が変わったときです。そして会員からの連絡は毎年総会のために送られてくる返信用のハガキと寄付金を郵便局に振り込む振込用紙の裏に書かれているのが殆どですからそれを元にデータと照らし合わせながら確認と訂正を行っていきます。

毎年両方あわせると、のべ約320通ほどの返事と寄付を頂きます。

その中には複数人の記入もあります。

時期としては会報を出版した翌月から総会までの期間にやります。

*通常だと4月中

(2) 新入会員(新卒者)の名簿への入力および確認

データは母校の先生が利用しているものを頂いておりますが、それぞれ項目の取り方が違っていたり不完全であったり、かなりの時間と労力が必要です。

例えば頂いたデータの項目で氏名が1つの項目である場合は姓と名前に分けなければいけませんし、何よ

りも一番大変なのが読み方を入力する事です。難関は、ずばり「読めない」です。また、その入力はキーボードによる手作業しかないのです。時期としては会報を発行する1ヶ月前までに終わらせれます。

*通常だと4月中

(3) 寄付を頂いた方の一覧表制作

会報に寄付金のご芳名として出すために一覧表を作ります。振込用紙の写しが郵便局より送られてきますので、それを見ながら該当者をデータベースから抽出しリストを作ります。

時期としては会報を発行する1ヶ月前までに終わらせれます。

*通常だと4月中

(4) データの活用

会員のデータは会報の出版時に振込用紙に印刷したり返信用ハガキに印刷します。データは出来上がっているの振込用紙(連続用紙)とハガキに印刷すればいいだけです。休みを入れずにやっても50時間はかかる計算です。

時期としては会報を出版する1ヶ月前までに終わらせれます。

*通常だと4月中

(5) 3年後に発行する会員名簿を制作するための準備

データはできあがっていますが、まだ何も決まっていけない状態です。こんな風に作って欲しいとかこんな事を希望するなどご意見を承ります。ただ、次回は初めて自分たちによる出版になりますので出来についてあまり期待はしないように今から予防線を張っていきます。

以上が活動内容でしたが、是非これらの活動は続けていきたいのですが、どうしても人手が足りません。そこで次に続きます。

◆◆お願い◆◆

何分人手不足ですので少しでも協力していただける方を募集しております。多くの時間は必要ないです。

今までの経験からすると(1)の部分に私を含めて3人で丸1日。(2)はやはり3人で丸2日。(3)は2人で1時間。(4)については何も決まっていないう状態ですがかなりの時間を取るはずです。

また、実際にお手伝いいたいただいて「面倒だ」「大変だ」「つまらなくて嫌だ」などど止めなくなった時には無理強い絶対いたしませんので取りあえずは興味本位や気まぐれでも結構です。

少しでも興味のある方や協力していただけない人は気軽に下記に連絡下さい。少額ではありますが交通費や通信費は委員会にて負担します。また、会報や名簿の出版に関して印刷会社にかかせる部分や出費が多いわけですが、出来るならば同窓生にお願いしたいと考えています。DTPの出来る人や印刷関係にお勤めの人で「私の所ならこんな風に出来るよ」とか「私の所ならこんなに便利だよ」と言う売り込みを待っています。

ちなみに会員のデータはパソコンで桐VER5と言うソフトウェアを使って管理しています。

名簿委員会 委員長 矢野正弘

住所(自宅) 東京都練馬区春日町

電話(自宅) 5-7-9

03-3825-9060

FAX(職場)

03-3948-1694

NIFTY-Serve ID

MXB01730

e-mail

MXB01730@niftyserve.or.jp

事務局より

同窓会組織をまとめてみますと、右の図のようになります。しかしながら、同窓会の現状は、昨年度（1994年度）総会主席者24名（旧教職員2名を含む）でした。また幹事は未だ開催されておらず、理事選出も一昨年度（1993年度）の総会出席者10名全員が理事になるという緊急措置を行うことで同窓会の危機を辛うじて回避しましたが、危機的状況は未だ続いているといえます。

昨年6月25日の理事会において、各委員会の設立が提案・可決されました。委員会は全部で四つあります。次に、各委員会の役割をまとめてみます。

- ◎総会委員会：総会開催の企画、運営について担当する。
- ◎組織委員会：右図に示した同窓会組織の活性化を図る。
- ◎名簿委員会：同窓会名簿の作成に関する事を担当する。
- ◎会報委員会：同窓会会報の作成を担当する。

以上の役割を担うことになりました。このため、同窓会運営の業務を各委員会で分担することができ、円滑な作業が実施できるようになりました。各委員会の活動状況は、二ヶ月に一回開催される理事会で逐一報告していますので、委員会相互の連携も理事会を通じて行われるようになっていきます。

今後も、同窓会運営にご理解とご協力をお願いいたします。

名簿委員会からのお願い！

同窓会名簿の情報を、ダイレクトメール・商品勧誘等に流用することはお止め下さい。

信頼関係を損なう恐れがありますので。

★同窓会事務局ではよりよい同窓会組織の維持発展のため、次の5項目の活動を考えています。

1. 5年に1度の同窓会名簿発行
2. 1年に1度の同窓会会報発行
3. 総会の開催（卒業生による運営に関する意見交換や意志決定の場。理事会も行われる。）
4. 同窓会総会後の懇親会（飲み食い会）開催。（尚、クラス会、同期会は、自主的に行って下さい。）
5. 同窓会総会の開催などには、事務局としても出来る限りの援助を致しますのでご一報下さい。

その他の事業の企画・運営など（可能性）
 振込用紙は添付のもの（又は郵便局にある赤い送金用紙）でしたら送金したい金額だけで送料は必要ありません。郵便局に行くことが有れば是非振込用紙も一緒にお持ち下さい。楽しくない高校生活だった人もい報を見て少しでも母校のことを思い出して欲しいと思います。

同窓会の財政について
 会計 矢野 正弘
 なかなか盛り上がりがない同窓会ですが、少人数ながら活動も（会報の発送、会員名簿のデータ化）順調になつております。
 しかし収支を見て分かる通り、収入は新入会員の入会金と皆様の寄付によるものだけです。それに比べて支出は会報の出版だけでも160万円ほどかかり毎年80万円以上の赤字となります。これを毎年繰り返し行けば近い将来は本当に無一文の同窓会になり会報の出版はおろか名簿の製作もままならなくなります。
 名簿の出版は外注すれば財政的にはリスクが少なくなりませんが、会員名簿の流出や、割高の名簿を買い取る得なくなる可能性が非常に高くなります。何とか名簿委員会が出版するに財政的に余裕がないと初期の支払いが出来ません。
 何度も紙面で寄付のお願いをしていますが、その聞き苦しいかと思いついて、何とぞよろしくお願い致します。振込用紙は添付のもの（又は郵便局にある赤い送金用紙）でしたら送金したい金額だけで送料は必要ありません。郵便局に行くことが有れば是非振込用紙も一緒にお持ち下さい。楽しくない高校生活だった人もい報を見て少しでも母校のことを思い出して欲しいと思います。

同窓会協力者、募集！！

同窓会事務局では、現状を同窓生諸氏にご理解していただき今後の同窓会の発展を目指したいと願っています。同窓会再建を目指し早二年が過ぎましたが、まだまだ多くの協力者の援助を要します。都合のよい時だけで結構ですから、協力していただける方はご連絡下さい。（連絡係：三浦 喜雄）

事務局への連絡方法

同窓会開催後出席者名簿や新たに住所・連絡先が変更になったり判明した方がいましたら、必ずご連絡下さい。連絡先は、下記のところ。現在、事務局（練馬高校内）には専従者がおりません。総会の出・欠席や事務局への連絡は葉書または封書にてお願いいたします。事務局（練馬高校内）への電話での連絡は、ご遠慮下さい。

連絡先は 〒179 練馬区春日町4-28-25 都立練馬高校同窓会事務局です。

同窓会名簿・同窓会総会・同窓会理事会へのお問い合わせ

☆同窓会総会に関する連絡先：総会委員：近藤 邦夫（電話0423-45-3022）

☆同窓会名簿に関する連絡先：名簿委員：伊藤 久雄 〒179 練馬区春日町4-36-1

☆理事会への連絡先：連絡係：三浦 喜雄 〒272 市川市新田3-27-15（電話0473-79-5412）

会計報告書

95年度決算書

収入の部	支出の部
前年度繰越し 6,393,476	総会費 238,560
入会金 383,400	部運出 42,815
総会収入 99,439	本会報出版費 1,562
利息収入 210,303	名簿出版費 116,014
名簿販売収入 15,750	(名簿出版準備費)
寄付収入 441,160	通事信務費 6,600
雑収入 0	立金 600
	雑費 270,600
	雑費 40,725
	次年度繰越し 6,826,052
合 計 7,543,528	合 計 7,543,528

96年度予算案

収入の部	支出の部
前年度繰越し 6,826,052	総会費 30,000
入会金 378,000	部運出 50,000
総会収入 20,000	本会報出版費 1,600,000
利息収入 73,000	通事信務費 10,000
寄付収入 400,000	立金 10,000
	雑費 300,000
	雑費 0
	雑費 50,000
	次年度繰越し 5,647,052
合 計 7,697,052	合 計 7,697,052

繰越金

文京信用金庫	定期預金	¥5,207,904
文京信用金庫	定期預金	¥1,000,598
文京信用金庫	普通預金	¥598,319
郵便局		¥9,700
現金		¥9,531
合 計		¥6,826,052

積立金

文京信用金庫	定期積金	¥541,200
--------	------	----------

97年度予算案

収入の部	支出の部
前年度繰越し 5,647,052	総会費 30,000
入会金 378,000	部運出 50,000
総会収入 20,000	本会報出版費 1,600,000
利息収入 73,000	通事信務費 10,000
寄付収入 400,000	立金 10,000
	雑費 300,000
	雑費 0
	雑費 50,000
	次年度繰越し 4,468,052
合 計 6,518,052	合 計 6,518,052

会計報告について

会計 矢野 正弘
紙面も少ないので簡単に説明申し上げます。

まず、総会開催における収支ですが、少しでも沢山の会員の方に来ていただきたいと思い、学生会館という会場をお借りし、更に会費を少なくしたために大幅の赤字となりました。ある程度予想された結果でした。次に寄付金ですが例年では会報の出版は業者に委託していたので寄付金も業者に管理してもらっておりリスクも業者に負ってもらっていましたが出来るだけ明瞭にするために全て同窓会が行うことになりました。よって、寄付金も全て同窓会が管理してますが会報の出版に伴う郵送費はもとより印刷代、封筒代から封入代まで負担しなければならなくなりました。但し、今年は総会を十一月に開くことになり会報もそれに合わせたため95年の会報による出費は大変少なくなっています。

それから名簿出版費ですが名簿を独自に管理するためにデータベース化するための費用であり95年度で今までの卒業生のデータベース化は終わりました。

そして最後に積立金ですが執念行事(十年毎)に何か必要であろうと考えており約三百万円を目標に別枠として積立てているわけです。

以上

編集後記

☆忙しさにかまけて、殆ど参加しなかった事に反省。今年こそはと思いつつ三号発刊だァ。

(七回生 小菅 英明)

☆言いたい事言いたい放題で、若い人達との出会いを楽しんでいます。

(二回生 GEVREK 川島恵美子)

☆もう第三号ですか？今まで何も手伝わらないよ。今度は何か出来るかな？

(七回生 近藤 邦夫)

☆会報第三号。懐かし、楽しく、昔の仲間と語れる時間——編集会議。

(九回生 三浦 嘉雄)

☆同窓会の仕事が毎年着実に増えているような気がするが、減ることはあるかな？

(十一回生 矢野 正弘)

☆毎年、同窓会会報が発行でき、会員の皆さんとの交流が深まってきています。

(九回生 小沢 直彦)

☆阪神大震災・薬害エイズ・住専処理…。日本社会が流動化している中で無事、会報三号が出された事を素直に喜びたい。

(十一回生 伊藤 久雄)

☆私も含めて他の理事の方々も忙し

い中、会報の制作に拘わっています。

みなさんも忙しいとおもいますが、会報の制作をしてみたい方を募集します。

(二十八回生 川島英無礼)

